



最近、全国各地で取り組まれている、ごみ対策や脱炭素化。ニュースやインターネットで耳にしたり、目にする機会も増えました。では、この町に住む私たちにできることは何があるのでしょうか。このシリーズでは、ごみ対策や脱炭素化に関連した身近な話題をご紹介します。「ごみのこととか、脱炭素化とか…」みんなで楽しく考えてみましょう。

連載第12回目のテーマは「小学校で取り組むエコ活動」。各小中学校では環境に配慮した様々な取り組みが環境委員会を中心に全校を挙げて実施されています。今回は、「宮代町子ども環境会議」で発表された町内の各小学校での取組を一部ご紹介します。

環境と向き合う子どもたち～小学校編～ 問 資源循環担当 34・1111 内線292 (2-15)



落ち葉の腐葉土で循環を♪
9月の落ち葉掃きでは、一輪車が3日でいっぱいになるほどたくさんの落ち葉を集めています。これらすべてをゴミとせず腐葉土にすることで、学校の花壇やみんなが植木鉢で育てている花のための土として活用しています。

秋にはたくさんの落ち葉を集めて、米ぬかと混ぜて腐葉土にします。大変ですが、とても楽しい仕事です。 須賀小6年 渡邊さん



資源回収率アップでリサイクルを促進!
年2回だった資源回収を今年度から常時回収へ変更しました。その結果、回収率は約1.3倍に！常時回収で、管理の大変さはありますが、

出しやすくなったと評判です。また、ペットボトルキャップのリサイクルの利益は、一部寄付となり、世界の子どもを救うワクチンにもなります。ごみを減らすために、全校児童や先生方に呼びかけています。一人一人が意識し、小さな取り組みを積み重ねることが大切だと思います。 百小6年 太田さん、森山さん

須賀小学校 東小学校 百間小学校 笠原小学校

ゴーヤでエコなグリーンカーテン♪

5月に栽培委員と協力し、木造校舎の前にゴーヤの苗を植えて「緑のグリーンカーテン」を作りました。校庭から見ると木造校舎の2階まで届くグリーンカーテンが日差しを遮り省エネ効果に♪
見た目も美しく、育てたゴーヤを収穫する喜びも得ることができる取り組みです。



ゴーヤが大きく育ってきた7月には、家庭科室が緑のカーテンでおおわれて、涼しく感じます。 東小6年 新井さん

校内新聞で情報発信!

学期ごとに、笠原環境新聞を発行しています。その中で、私たちが出来ることというテーマで、身近な具体例「電気をこまめに消す」「テレビのつけっぱなしをやめる」等を掲載して、みんなに伝えるように考えて作成しています。



全校児童に伝わりにくい内容や、しっかりと理解してほしい項目がある場合には、お昼の放送で低学年にもわかるように伝える工夫をしています。 笠原小6年 池田さん

取材後記

この記事では学校内の取り組みを紹介しましたが、学校外でも町内に掲示されている子どもたちの手作りポスターや、周辺を清掃している様子を見かける機会があると思います。ぜひそういった取り組みを見て、皆さん自身でも身近で出来ることを考え、実践してもらえればと思います。

また役場の庁舎では、夏と冬に開催されている「宮代江戸の日」の日記を1階ロビーで掲示しています。ぜひご来庁の際にはご覧ください。

宮代江戸の日とは

平成19年度、当時の子ども環境会議委員から、江戸時代は環境にやさしい生活をしていたという考えで、江戸時代のような生活をしようという提案のもと、夏と冬に環境について考えながら生活する日として設定されました。

次回は中学校の取り組みをご紹介します!

きれいなまちづくり活動 里親制度 登録団体紹介

「自分で住む町を清潔できれいなまちにしたい」この様な思い、活動を支援しています。

問 環境推進担当 34・1111 内線294 (2-15)



(記事ID 19905)

埼玉北障がい者地域活動支援センター ふれんだむ



- 主な活動と活動地域
東武動物公園駅からスキップ広場等のごみ拾い
- 活動の振り返り
清掃後に、拾ったごみの量や種類をメンバー同士で報告・記録をつけて、気づいたことを話し合っています。
- これからの宮代町について
誰もが住みやすい街にするために、ごみは各自で決められたところに捨ててほしいです。

MIYASHIRO エコ☆スターズ



- 主な活動と活動地域
東武動物公園駅前を中心に町内のごみ拾い
- やりがいを感じる時
清掃して段々ごみが減ってきていることを実感したり、活動を表彰されたりすることが嬉しいです。
- これからの宮代町について
エコバッグやごみ袋でごみを持ち帰る習慣がつくことで、もっときれいな町になったら良いと思います。